

2022/7/25

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-6859

先週のマーケット動向(7月18日～7月22日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,318.3	1,321.7	1,302.8	1,313.0	▲13.1
JPY/KRW	9.5329	9.5584	9.4195	9.5255	▲0.037
KOSPI	2,350.48	2,417.91	2,344.12	2,393.14	+62.16

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落した。米金融引き締めへの過度な警戒が後退する中、ドル/ウォンは1318.3ウォンにてオープン。週前半は目新しい材料にかかる中国内での外国人投資家の韓国株買いや、中国株の上昇による人民元高などありドル/ウォンは下落。さらにイエレン米財務長官が韓国を訪問中であり、通貨スワップ契約締結議論が前進することへの期待もドル/ウォンの上値を抑える要因となり、20日朝方にドル/ウォンは1,302.8まで下落した。週後半においてはECBによる予想外の50bpの利上げ等あり、市場はリセッションを意識し、株安債券高の展開に。ドル/ウォンにおいてはドル売りと外国人投資家による韓国株売りの影響に挟まれ、方向感に乏しい展開となった。結局、先週末対比13.1ウォン下落した1,313.0ウォンでクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは方向感に乏しい展開を予想。改善の兆しが見られないインフレを前に、市場ではリセッション懸念が広がり長期金利が大きく低下する事態となっている。ドル/ウォンにおいては月末の実需のウォン買いが入る中、大きく上昇することは考えにくいものの、リセッションを前提とした外国人投資家による株売りが入りやすく、投機的なウォン売り構造は維持されよう。FOMC(7月27日)ではリセッションに対してFED高官が楽観的な見方を示すと予想されるも、市場はこれに懐疑的であり、リスクオンムードは今しばらく続くのではなかろうか。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1300 ~ 1330	9.50 ~ 9.80	135.5 ~ 137.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 26日(火) 米 6月 新築住宅販売件数
米 7月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
韓 2Q GDP 一次速報
- 27日(水) 米 6月 耐久財受注 速報値
米 FOMC 政策金利発表
- 28日(木) 米 2Q GDP 一次速報
- 29日(金) 日 6月 鉱工業指数 速報値
米 7月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
米 6月 個人所得
米 6月 個人消費
日 7月 東京都区内CPI
日 6月 失業率
欧 2Q GDP 速報値